

◆ 小学校朗読会 ◆

9月19日(火)	演目： 朗読チーム：「となりのトトロ」スタジオジブリ すずの音：「100万回生きたねこ」佐野洋子
----------	--

◇ 小学校朗読発表会 ◇

報告 日本語日本文学科2年 小野紘子

2度目の小学校全校児童の前での朗読会でした。緊張はあまり感じませんでしたが、普段通りの読みを発揮できなかったように感じており、消化不良の様な気持ちが残っていることが少し悔しくあります。

「となりのトトロ」の詩を読んだのは初めてでしたが、映画だけでは拾いきれない、サツキやメイという子どもだからこそ抱ける細かな心情の描写がとても素敵な作品だと思います。また、「歌を歌う」という初めての試みでしたが、喜んでもらえ且つ一緒に

歌ってくれたので、朗読チーム皆で練習をした甲斐がありました。その後の時間で行った児童への朗読指導も含め、今後もぜひ、小学生の皆さんと関わられるような企画を探っていけたらよりお互い楽しめると思います。

「すずの音」の皆さんが読まれた「100万回生きたねこ」はタイトルしか知らなかった作品なので、ワクワクした気分で聞いていました。私はまだまだ大人と言える年齢ではないですが、作品に対して小学生ならではのリアクションや疑問をもった点など共感もありつつも、非常に驚きや新鮮さを感じられたと思います。彼らのそのような感情を引き出し、世界観に引き込ませる演技力や台詞と地の文の読み分けなど、たくさん勉強させていただきました。



みんな大好きな「となりのトトロ」



朗読後、「小学生のみんなも朗読してみよう！」

◇ 小学校朗読発表 ◇

報告 日本語日本文学科1年 三雲紫恩

私が読書運動プロジェクトの朗読チームの一員になってから最初に参加したイベントは9月19日(火)に緑園東小学校で行われた朗読会でした。私たち現役のフェリス生が今回発表したのは「となりのトトロ」の詩で、フェリス女学院大学のOGである「すずの音」の皆さんが発表したのは「100万回生きたねこ」でした。朗読家・鈴木千秋先生のご指導の



OGの「すずの音」も参加

もと、5月あたりから練習を積み重ね、発声練習や外郎売だけでなく、朗読を行う上での極意などいろいろなことを教えていただきました。1年生は私だけであり、先輩方よりも劣っている自分の朗読に苛立ち、なぜ上達しないのだろうと悔しく思うことも多くありましたが、千秋先生が時に厳しく、時に優しく核心を突いたお言葉をかけてくださったおかげで何とか本番を無事終えることができました。

鈴木先生の朗読会や、OGの先輩方である「すずの音」の皆さんの発表会には緑園東小学校での朗読会の前にもお伺いしたことがありましたが、今回も素晴らしい司会と朗読で、私も早く自信をもって朗読ができるようになりたいと思いました。

来年度は2年生になり、後輩が入ってくる可能性もあるのでより気を引き締めて朗読の練習に臨もうと思います。

声はお腹から出すと
遠くまで届くんだったって！
ぼくもやってみたいな♡

